

昭和42年度日本気象学会賞、藤原賞候補者推薦について

日本気象学会賞・藤原賞候補推薦委員会

昭和42年度学会賞、藤原賞の推薦について一部の会員には下記の依頼文をお届けしましたが、一般会員の方からも御意見があればふるって御推薦をお願いします。なお推薦用紙は学会事務局にありますから御請求下さい。

向寒のみぎり、いよいよ御清勝のことと存じます。

私ども(下記)はこのたび昭和42年度日本気象学会賞および藤原賞候補推薦委員に命ぜられましたがつきましては両賞の審査の資料として各関係分野でのそれぞれの適当候補者(共同研究を含む)1名を御推薦いただければ有難く存じます。日本気象学会賞(副賞付)は「原則として前5ヶ年間の気象集誌に発表された論文を審査してその中から気象学に関し、重要な研究をなした者」をまた藤原賞(副賞付)は「気象学の応用に関する調査、研究、総合報告、著述等により日本の気象学および気象技術の向上に寄与した者」をそれぞれ候補として推薦委員会が選び理事長はこれを「理事会にかけ、全理事に対し無記名によってその可否を投票させ」て選定されるものでありまして、参考までにこれまでの受賞者氏名をあげれば下記の通りであります。御推薦は候補者推薦用紙に御記入の上勝手ながら昭和42年1月15日までに下記推薦委員会宛御送り頂ければ幸に存じます。

送付先 東京都文京区弥生2丁目 東京大学地球物理学教室 柳井気付 日本気象学会賞、藤原賞候補者推薦委員会

昭和41年度学会賞・藤原賞推薦委員会 構成

正野重方(委員長) 有住直介, 小倉義光, 樋口敬二, 柳井迪雄(幹事)

昭和29年以降学会賞受賞者

昭和29年 井上栄一, 小倉義光
30年 黒岩大助, 村上多喜雄
31年 沢田龍吉, 佐々木嘉和, 都田菊郎
32年 平尾邦雄, 田尾一彦, 須田 建, 朝倉 正
33年 磯野謙治, 山元龍三郎
34年 北川信一郎, 小林正治, 伊藤宏, 増田善信
35年 毛利圭太郎, 小林禎作
36年 駒林 誠, 笠原 彰
37年 柳井迪雄

38年 荒川昭夫
39年 竹内清秀
40年 樋口敬二
41年 立平良三

昭和38年以降藤原賞受賞者

昭和38年 斉藤鍊一
39年 宮崎正衛, 宇野木早苗, 上野武夫
40年 山本義一
41年 真鍋淑郎

宇宙線と気象に関するシンポジウム プログラム

期日 1966年12月17日(土)10時より

場所 気象庁第一会議室(東京都千代田区大手町)

世話人 和田雅美(理研), 須田友重(気象研)

講演題目

午前の部 10時より12時まで

1. 宇宙線を用いた大気各層の気温の推定
和田 雅美(理研)
2. 館野上層の風と気温の日変化について
松橋史郎(高層気象台)
3. 宇宙線成生核種とその気象学的応用
三宅泰雄(気象研)

午後の部 13時より15時まで

4. 乗鞍に於ける気圧と風の関係

川崎信吉, 和田雅美(理研)

5. 強風下での気象測定法

小玉正弘(理研), 石田喜雄(福島大)
清水逸郎(気象庁)

6. 宇宙線と各等圧面高度との相関

須田友重(気象研)

7. まとめ

(講演題目の追加, 変更があります)

シンポジウムのお知らせ

主題: 気候変動の機構に関するシンポジウム

会期: 1967年2月24日(金)9時30分より

会場: 気象庁第1会議室

(詳細は追ってお知らせします)